

語学の件は？

言葉はいらない！じっと顔を見て表情ですべて通じるとおっしゃっていました。胸をたたく気持ちを表現することで、どの国でも同じ思いなんだと伝わるそうです。

作品作りについて

「まず素材↓その素材がどれだけ手に入るか↓発想につなげる」
美術館のなかに展示されている、ボウリングのピンもそのひとつで、とあるボウリング場から頂いたものを素材に、また別のアートとして使われています。思いついたらすぐ取り掛かる、やり始めたら躊躇せず最後までやりきるという気持ちでいつも作られているそうです。とはいえ、スロースターターの武内さん。集中力が高まるまでに3時間はかかるそうで、制作が夜中までかかることもあるそうです。

「太陽の涙」のモニュメントを作るにあたってのきっかけは？

きっかけとなったのは、2001年韓国ソウルでの個展だそうです。当時も今と同様、日韓関係が微妙な時期に韓国の美術関係者から「すばらしい」と声をかけられ「アジアや世界の平和を祈念できるモニュメントを作れないか。」と言われ、長年構想を練ったそうです。3年10か月かけ2018年10月に完成した「太陽の涙」は武内さんによるとせっかくのモニュメントは、「上からではなく、下から見てもらえたら迫力が全然違う。」とおっしゃっていました。しかし、許認可の関係でそれがかなわず残念とおっしゃっていました。

これからの作品作りは？

いつまで作ることが出来るか判らないが、個展、展覧会に出展させていたときは、常にこれが最後だという



太陽の涙

◎(外に出ると)太陽の涙は30分に一度落ちてくる。大自然の中の雀の涙、それが川の流れていっているかのように感じる。



紳士達の昼食会

◎屋外は季節によって見え方が違うのも楽しい。

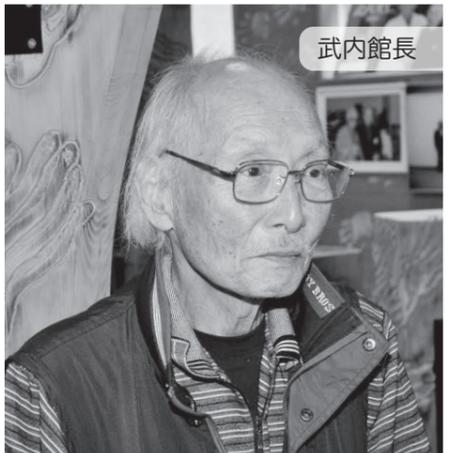
気持ちで取り組んできたし、作りだしたら中途半端で終わらせたくない！という信念でやっているそうです。

最後に

日本は、伝統文化を大切にしているが、外国では新しいものも古いものも同等に大切にしている。早くそういう日本になっ

て貰いたいとお話くださいました。

武内館長



委員長コメント

存在は知っていましたが、南国市に住みながら11年も経過した美術館を初めて訪れることに恥じらいを覚えました。

館長の武内光仁さんは、白木谷生まれの優しい情熱的な方で、お話をされる言葉からは、想像できないくらい身体全体からみなぎってくるエネルギーが感じました。

愛情がそそがれた美術館は、10年以上をかけて完成されたそうです。建物自体が作品であり、入った瞬間から立体・平面作品を堪能できますし、館長さんをはじめ、大勢の県内外作家の絵画や彫刻の収蔵作品が鑑賞できます。

特に開館10周年を機に「今まで生かされてきたことへの感謝と世界平和を祈念」して完成させた巨大モニュメント「太陽の涙」は圧巻です。
去る8月には、館のホームページも開設以後、2万人の訪問者を数えたそうです。

コロナ禍の中、是非「白木谷国際現代美術館」を訪れて、奥様の入れられた「コーヒーをいただきますながら、ゆったりと」たけのこの里白木谷で芸術の秋を堪能されては、いかがでしょうか。

南国市民として、一度は訪れてみる価値のある美術館です。

武内光仁 先生プロフィール

1960年代～	高知のアバンギャルド集団「前衛土佐派」の最年少メンバーとして活動
1965年	第19回高知県展洋画褒状 以後洋画褒状8回 第8回新象作家協会展初出品 佳作賞(東京都美術館)
1974年	南国市展洋画 無鑑査(～現在に至る)
1993年	郷土文化会館賞ファイナル展 大賞
1994年	第37回新象作家協会展 展賞
1996年	作品集「我が生の旋律」刊行
1998年	アウトドアワンマンショー(白木谷アトリエ)
1999年	高知県展洋画 無鑑査(～現在に至る)
2000年	中山間サミットイン白木谷開催(～2001年) キューバ・ピエンナーレ展
2001年	アート電車(市内電車の車体ペインティング ～2005年)
2004年	宇宙と人間の霊媒師-武内光仁の世界-展(企画/(財)池田20世紀美術館) 東京都庁特別展示記念企画「武内光仁ドローイング展」 特別展示東京都庁第一本庁舎2Fロビー展示「青い基地」(企画/東京都庁)
2005年	モナコ・コートダジュール国際展 (財)池田20世紀美術館コレクション展
2006年	ブルガリア国際芸術博覧会
2007年	マレーシア国立美術館出展 ロシア国立芸術アカデミー美術館特別賞
2009年	「無言の抗議」でワンマンショーを開催したのをきっかけに「白木谷国際現代美術館」をオープン
2010年	白木谷国際現代美術館屋外展示場開館 南国市立岡豊小学校創立100周年記念モニュメント製作「おおきな夢に向かって」 絵本「John Manjiro was Here」イラスト担当
2011年	高知県文化賞受賞
2013年	白木谷国際現代美術館野外展示場300m全遊歩道完成
2016年	第70回高知県展功労者賞(高知新聞社) 高知県立美術館平成28年度コレクション展
2017年	坂本龍馬記念館「海のみえる・ぎやらい 11年間の軌跡」展 Parisヌーボー・ジャポニズム芸術展 他
2018年	世界平和を祈願したモニュメント「太陽の涙」完成
2020年	第45回白木谷国際現代美術館12周年特別企画「今こそ、24人の足跡とダイナミック展」

2011年以降白木谷国際現代美術館にて、毎年数々の企画展を開催。
パブリックコレクションは、海外では、オーストリア、キューバ、マレーシア 他5カ国、日本では、平安神宮、高知県立美術館、アクトランド 他14箇所まで収蔵。イタリアのワインのラベルや台湾の切手のデザイン等、多方面にわたり国内外で活躍中。

1947年(昭和22年)生まれ 南国市白木谷出身 72歳



白木谷国際現代美術館

所在地：南国市白木谷 36 電話：088-862-3513
H P：http://shirakidani.ipn.cx 営業時間：午前10時～午後5時 水曜定休
入館料：大人550円(コーヒー付き) 中学生300円(ドリンク付き)
小学生 無料(ドリンク付き)